

# 宝珠山 如意寺だより

## 秋号

(平成27年10月1日発行)

### 行事のお知らせ



境内が紅葉で色づき始めると**七五三詣**のシーズンです。お子様の健やかな成長を感謝し、ご家族でお参りください。

**10月～11月** 随時受付。

ご祈願をお受けになられた方には、お札、お守り、千歳飴、風車、記念品をお授け致します。

**大晦日**の「除夜の鐘」は、午後11時40分からです。

**甘酒接待**

大晦日、正月三が日



**初詣**

**新春護摩祈願**

家内安全・厄災消除・商売繁昌 他  
縁起物、御守、干支置物の授与品多数。



駐車場は如意寺駐車場と久美浜小学校グラウンドをご利用ください。

### 役行者 (えんのぎょうじや)

不動堂内の左脇にお祀りされているのは「役行者」と呼ばれ、名前を役小角(えんのおづぬ)と云って、修験道の開祖とされています。修験道は密教(真言宗・天台宗)の山中での修行と日本古来の山岳信仰が結びついて生まれたものです。

七世紀後半の人物とされていますが、生涯の足跡はほとんどわかっていません。非常に呪術にすぐれ、空や野山を駆け巡り、鬼神をも従えて水を汲んだり薪を割らせたりしたと言われています。

お姿の多くは頭巾をかぶり高下駄を履いて岩にこしかけており、生駒山で改心させたという前鬼・後鬼という夫婦の鬼を従えています。

のちには朝廷から「神変大菩薩」の称号を贈られ、修験者や人々の信仰を集めてきました。



### 海の京都博 協賛行事実施中!

#### 『久美浜遊覧船』に乗ってみよう!

久美浜湾上から見る景色は最高です。

久美浜湾 (如意寺から700mの街なみ中心部の海岸)



◆案内付き・片道30分

#### 小天橋

- ・10月31日までの、土・日・祝 (1日3往復)
- ・お一人様 1,000円 (片道でも往復でも)
- ・出発: 久美浜港 (11時、13時、14時 出港)

#### ★お薦めコース★

久美浜港11時発～小天橋着11時半～「みなと荘」で海鮮丼～小天橋発13時半～久美浜港着14時。この後、「豪商稲葉本家」へ徒歩5分。更に、久美浜駅まで徒歩10分。**予約不要。**

「みなと荘」は念のためご確認を。(TEL.0772-83-1115)

#### その他お問い合わせは、如意寺へどうぞ。

※これ以外の日は、予約でお一人様 1,900円  
予約による乗船は、一年中OKです。

11月

10月

### 秋の冬の花暦

	山茶花 さんぢんか		秋丁子 あきちょうじ		霜柱 しもぼしら
	吉祥草 きちじょうそう		杜鵑草 ほとじそ		吾亦紅 われもこう
	紅葉 もみじ		大文字草 だいもんじそう		藤袴 ふじわら
	山竜胆 やまりゅうたん		薩摩野菊 さつまのしよく		釣船草 つりふねそう
	磯菊 いそぎく		野紺菊 のこんぎく		秋桐 あきのきり

など...



# むくどく いんが いちにょ 無功德(因果一如)ということ

## ～生きる目的とは～

中国の梁の国の武帝(6C頃)は、尊敬している達磨大師が自分の国に来られたので、城に招待しました。そして、いろいろ誉めてもらいたくて、「私はお寺を沢山建てて、大勢の僧侶に布施して仏法興隆に貢献してきています。どんな功德があるのでしょうか。」と尋ねました。すると達磨大師は「無功德」と答えました。武帝はすっかり動揺してキョトンとしてしまったそうです。なぜ「無功德」なのでしょう。

たとえば、「今日は電車でおばあさんに席を譲ったらとても喜んでもらったから、宝くじを買えば10万円くらい当たるかもしれない。」と、後で考えたといいます。このくらいなら、誰でも経験はあると思いますし、無邪気てかわいいものです。しかし、もし、いろいろな善行が何かの対価を求めて行われるなら、それはもはや善行とは言えません。一般的には、善いことをする人は、やはり何かにつけよい結果を得ることが多いと私は思います。しかし、いい人が早く病気で亡くなられたり、思わぬ事故に遭われるという悲しい出来事も、長い人生では時として生じます。どう考えればいいのでしょうか。

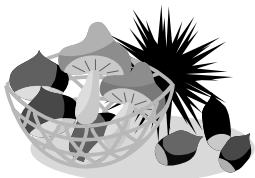
仏教では、因と果は必ずしも一致しないと説きます。おばあさんに席を譲ったこと(善因)により、他の何かよいこと(善果)が生じるのではなく、席を譲ったこと自体(因)が、よい報い(果)であるのです。満員電車の中で席を譲るのは、勇気のいることです。そうであるにもかかわらず、自分の良心のおもむくままにスッと席を譲れた行為そのものが立派な行為であり、すぐれた功德なのです。その人の積み重ねて来られた陰徳が虹のように現れた瞬間だったのです。悲しんでいる人、困っている人に声をかけたり助けてあげようという行動ができることで、人間としてすでにすばらしい功德を受けておられるのであります。これを「因果一如」と言います。意識しないで自然体で善行ができるのが理想ですが、これがなかなかむずかしいものです。



人生に目的はありません。悪いことでさえなければ、何をしてもよいのです。自由です。そのため、日々、エネルギーを蓄えてこの体を養い、懸命に生きる。そうすれば、いろいろなよい行為をすることができます。言い換えれば、人生の目的は、「美しく生きること」につきます。そのため、私どもは日々、悩み、努力して生活しているのではないのでしょうか。

美しく生きるとは、自分も輝き、世のため人のためになる生き方です。皆様もいろいろな活動をなさっておられると思います。たとえば、誰かが引っ張らないと、ハイキング一つ、食事会一つできません。自分がやってみるか、もしできなければ、やる人を手伝ってあげればよいでしょう。それも大きな働きであります。

誰もが強力なリーダーにならなくてもよいし、誰もが悟れるわけではないかもしれません。頑張る人を応援することも立派な態度ですし、悟った人や人助けに奔走されている人(お釈迦様、お大師様、観音様、お不動様、諸々の仏様など)を拜むことも大切な信仰のあり方です。ゆっくり、じっくり、少しずつ近づけばよいのですから。



### ことば

- ◆ 一生は短いが一日は長い。一日を生きるのが人生である。
- ◆ こだわっている自分は小さい。
- ◆ 御仏は、御親。